



【 教育目標 】

よく学ぶ子

思いやりのある子

体をきたえる子

苦手なことでも

校長 嶋 脇 郁 夫

個性を大事にした教育が叫ばれて、久しくなります。「みんなちがってみんないい」とは、有名な金子みすずの言葉です。一人一人のよさを認め伸ばすということはとても大切なことです。しかし、そういう中で、苦手なものはやらず得意なことだけ頑張らせればいいのかという誤った風潮も見られます。また、苦手なものはすぐにあきらめ、投げ出す子も見られます。算数や国語は頑張らせるけれど、体育や図工、音楽など苦手だったら無理しないでいいよと親があきらめてしまうこともあるようです。

桜は、あの美しい姿を見せるほんの一瞬のために、休むことなく一年間営みを続けてきています。そして、この営みがあってこそ、美しい花を咲かせることができるのではないのでしょうか。満開の花が人々を和ませることを桜のもっとも得意なこととした時、誰にもあまり注目されない夏から冬の季節を桜の苦手なこととした時と考えると、得意なことを花開かせるためにどれだけ苦手なことを頑張ってきているかが分かります。

得意なことも苦手なことも一人一人それぞれ違いますし、苦手な度合いもそれぞれ違います。走るのが苦手な子に、一番速い子と同じ速さで走りましょうということは、なかなか難しいことだと思います。でも、その子の中での新記録をめざすことはできます。そこに大きな意味があるのではないのでしょうか。

小・中学校はたくさんの経験を通し、自分の可能性を広げて行く時期だと思います。ですから、子ども達が自分のよさを伸ばし、その子なりの輝きを見せるためには、たくさんの苦手なことも、逃げ出さずに頑張らせる必要があると思います。学校と家庭で共通理解し協力しながら、苦手なことでも逃げ出さず挑戦する子どもを育てていくことがとても大事だと思います。

■9月の思い出といえば、やっぱりはずせない「修学旅行」と「校外学習」。…特集です…。

修学旅行

6年生にとっては「卒業式」に次ぐ行事と
言っているかも知れません。仲間や先生と
の2泊3日。どんなことがあったかな…。



今年は列車とボーリングに挑戦。自分で切符
を買うことが少なくなったので、少し緊張し
ながらボタンを押していました。

校外学習



もちろん、もっとたくさんあります。学校の写真コーナーにもあります
から、時間があったらどうぞ見て下さい。こうした思い出の一つは
きっと子ども達の心にゆっくり積み重なって輝くのだと思います。☆☆☆

10/12は「関西二期会」合唱公演
があります。県内初かも!? ぜひ
来て下さい。赤石小も全校で来
てくれるそうです。楽しみですね!!